

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日



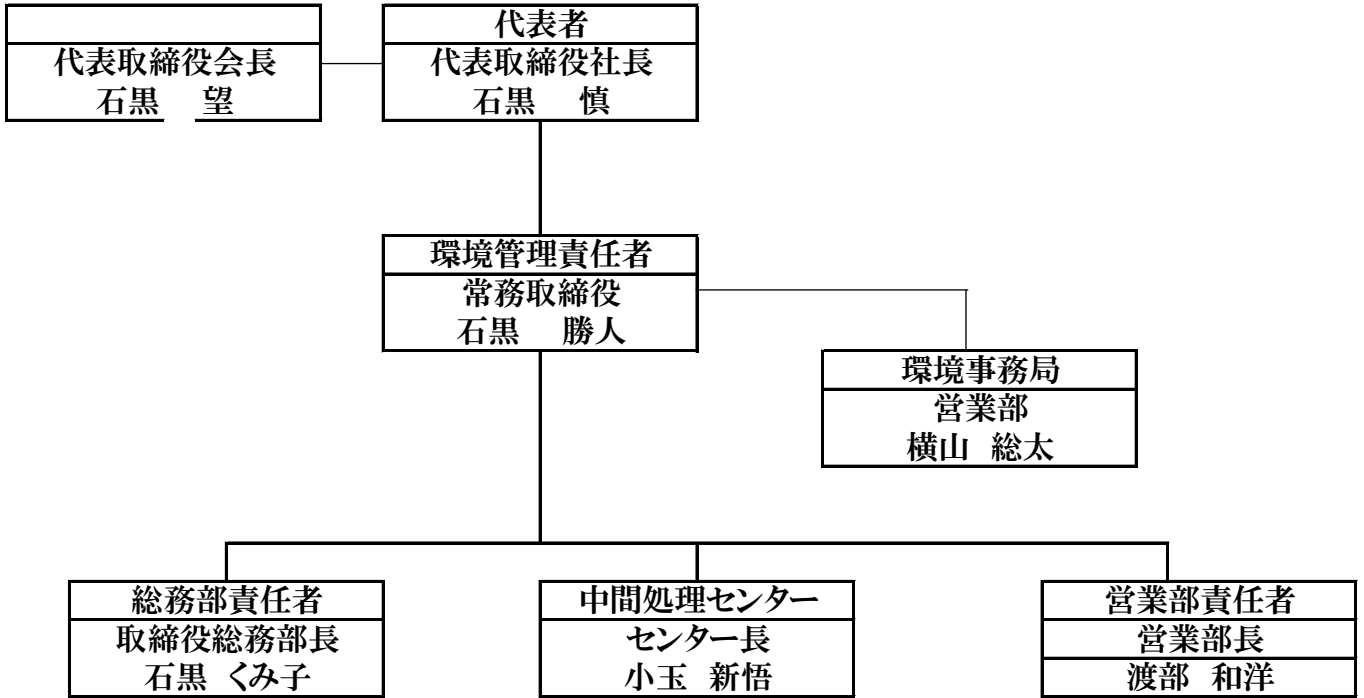
豊興産株式会社

作成日：令和5年4月1日

豊興産株式会社 EA21実施体制図

令和 5 年 4 月 1 日作成

承認	確認	作成
石黒 慎	石黒 勝人	石黒 勝人
	環境管理責任者	環境事務局



【 役割・責任・権限 】

<p>代表者</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営に関する統括責任 • 環境方針の策定・見直し・及び全従業員へ周知 • 環境目標・環境活動計画書を承認 • 環境活動レポートの承認 • 代表者による全体の評価と見直し、指示 • 実施体制を構築する • 環境経営に必要な資源を用意する。 • 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
<p>環境管理責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境経営システムの構築、実施、管理 • 実質的な環境活動・監督を統括 • 環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートの確認 • 代表者へ報告する。
<p>環境事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境管理責任者の補佐 • 環境活動の実績集計 • 環境目標、環境活動計画諸・環境活動レポートの作成
<p>各部門責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自部門における環境経営システムの実施 • 自部門における環境方針の周知 • 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
<p>全従業員</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 • 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

豊興産株式会社環境方針

〈 基本理念 〉

豊興産株式会社は秋田県秋田市に位置し、土木工事全般・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理を主な事業活動とし、『明日の空気を変えていく』をテーマとし、ともに共存してきた地域の環境を守るために、事業活動における環境負荷の低減及び資源の有効活用を図るため、会社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組んでいきます。

〈 行動指針 〉

- 1、環境経営システムを構築し、次の事項を重点的に取組みます。
 - ① 工事施工・収集運搬時の燃料消費を低減し、二酸化炭素排出量の抑制
 - ② 車両等新規購入の際に車両の仕様において排気ガス抑制基準及び低燃費性の重視
 - ③ 事業活動に伴う電気使用量の削減
 - ④ 事務処理で使用する紙資源の節減
 - ⑤ 事務所等で節水を推進し水資源使用量の削減
 - ⑥ 中間処理後の汚泥発生量の減量化
- 2、環境に配慮した製品等の購入を推進します。
- 3、環境保全活動の内容を全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。
- 4、地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 5、環境関連法規を遵守します。

制定日： 平成26年 12月 25日
改定日： 令和 1年 12月 3日

豊興産株式会社
代表取締役 石 黒 慎

事業概要

1、名称及び代表者名

豊興産株式会社

設立年月日： 1964年 4月

代表取締役

石黒 慎

資本金 : 20,000千円

2、所在地

【 本社 】 秋田県秋田市新屋烏木町1番82-2号

【 中間処理センター 】 秋田県秋田市新屋町字関町後232番地1号

【 資機材センター 】 秋田県秋田市浜田字西出小屋32

3、環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名 : 石黒 勝人

担当者連絡先 : TEL / 018-828-4611 E-mail / yutaka-koj4@mild.ocn.ne.jp

4、事業内容

土木構造物の施工、産業廃棄物の収集・運搬、汚泥の中間処理
および下水道維持管理、浄化槽保守点検業務、除排雪業務

工事部： 土木工事一式、下水道維持管理、管渠内調査、残置管充填 等

環境部： 産業廃棄物収集運搬・汚泥中間処理処分、特別管理産業廃棄物収集運搬、
各種排水管・側溝等清掃、廃乾電池及び廃蛍光管収集運搬、環境メンテナンス事業、
除排雪作業一式 等

5、事業の規模(2022年度)

売上高 — ¥1,045,274,568

	本社	中間処理センター	総計
従業員 (名)	34	4	38
延べ面積 (㎡)	3,769	4,954	8,723

6、【 中間処理センター 】詳細

中間処理品名： 汚泥(無機性・有機性)

中間処理方法： 無機性(脱水) 有機性(脱水)

脱水処理能力： 8m³/h (64m³/日)

天日乾燥 : 15.49m³/日

汚泥保管施設面積： 185.20m²

汚泥保管施設容量： 339.14m³

積み替え保管品名： 廃アルカリ、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず

積み替え保管施設面積： 11.57m²

積み替え保管施設容量： 31.25m³

収集運搬(蛍光管)： 36,093.80 kg

収集運搬(乾電池)： 7,344.50 kg

【2021年度 新規積み替え保管場所詳細】

積み替え保管品名： 廃アルカリ・廃酸・金属くず

廃プラ・ガラスくず・汚泥(ばいじん等)

積み替え保管場所： 豊興産車両車庫一部

積み替え保管施設面積 27.95m²

積み替え保管施設容積 46.94m³

7、取組み期間

令和 4年 4月 1日

～

令和 5年 3月 31日

産業廃棄物取扱量

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比(%)
無機性汚泥 (t)	3,166	4,069	4,787	117.7
有機性汚泥 (t)	4,698	4,193	4,737	113.0
蛍光管 (kg)	38,327	36,094	33,414	92.6
乾電池 (kg)	7,534	7,345	7,302	99.4

保有車両・機械

《 収集運搬車両 》

	名称	登録番号	最大積載量(kg)	最大容量(m ³)	車体寸法(m)[長さ×幅×高さ]	車両メーカー	環境性能
1	11tダンプ	秋田100は40-08	10,400	—	9.96×2.49×3.40	いすゞ	
2	10tダンプ	秋田100は41-84	9,100	—	7.83×2.49×3.30	UD	
3	4tダンプ	秋田100す33-59	3,650	—	5.48×2.19×2.50	UD	低排出ガス
4	4t深ダンプ	秋田100さ32-70	3,750	—	5.62×2.20×2.51	UD	低排出ガス
5	2tダンプ	秋田400ち85-74	2,000	—	4.69×1.69×1.96	UD	低排出ガス
6	3tトラック	秋田100せ430	3,000	—	6.07×1.90×2.15	いすゞ	低排出ガス
7	7tユニック	秋田100は37-36	7,500	—	9.41×2.49×2.99	いすゞ	
8	4tユニック	秋田100す82-79	3,400	—	6.14×2.23×2.99	UD	低排出ガス
9	キャラバン	秋田400た29-96	1,000	—	4.69×1.69×1.99	日産	低排出ガス
10	プロボックス(バン)	秋田400ち35-40	400	—	4.19×1.69×1.53	トヨタ	
11	プロボックス(バン)	秋田400ち82-30	400	—	4.24×1.69×1.53	トヨタ	
12	軽トラック	秋田480き58-21	350	—	3.39×1.47×1.78	トヨタ	低排出ガス
13	13t超特殊強力吸引車	秋田800は8-40	6,150	6.1	9.83×2.49×3.58	UD	低排出ガス
14	11t特殊強力吸引車	秋田800は10-88	7,960	7.6	9.32×2.49×3.57	日野	低排出ガス
15	10t特殊強力吸引車	秋田800は13-57	7,240	7.2	7.91×2.49×3.29	日野	低排出ガス
16	5t特殊強力吸引車	秋田800は2-33	3,920	4.0	7.17×2.20×2.90	UD	低排出ガス
17	4t特殊強力吸引車	秋田800さ87-57	2,170	2.0	6.62×2.20×2.82	UD	低排出ガス

《 その他車両 》

	名称	登録番号	最大積載量(kg)	最大容量(m ³)	車体寸法(m)[長さ×幅×高さ]	車両メーカー	環境性能
1	超高压洗浄車	秋田800は14-60	3,100	—	6.12×2.21×2.56	いすゞ	低排出ガス
2	超高压洗浄車	秋田800は12-67	4,150	—	7.14×2.30×2.57	いすゞ	低排出ガス
3	キャブオーバ	秋田100す10-95	1,350	—	4.78×1.69×2.32	UD	低排出ガス
4	TVカメラ車	秋田800す18-29	—	—	4.69×1.69×2.24	トヨタ	低排出ガス
5	TVカメラ車	秋田800す64-54	—	—	4.69×1.69×2.24	トヨタ	低排出ガス
6	穿孔車	秋田800す54-76	—	—	4.69×1.69×2.21	トヨタ	低排出ガス
7	ボイラー車	秋田800さ51-66	—	—	5.83×2.26×3.50	UD	低排出ガス
8	パートライナー車	秋田88す69-53	—	—	6.28×1.88×2.91	UD	
9	移動式脱水車	秋田800ゆ6	—	—	10.2×2.49×3.52	兼松	

《 保有機械 》

	名称	登録番号	機械名	総重量(kg)	車体寸法(m)[長さ×幅×高さ]	車両メーカー	環境性能
1	ホイルローダ	秋田930さ13-03	938	14,040	7.62×3.48×3.55	CAT	排出ガス適合
2	ホイルローダ	秋田000る37-50	WA200	10,595	7.63×3.28×3.14	コマツ	排出ガス適合
3	ホイルローダ	秋000る31-27	914K	9,205	6.40×2.40×3.28	CAT	排出ガス適合
4	ホイルローダ	秋田000る10-57	910G	6,605	6.06×2.32×3.13	CAT	排出ガス適合
5	ホイルミニローダ	秋田市う7-31	—	—	3.99×1.40×—	フルカワ	
6	ロータリ車	秋田900る4-55	—	6,650	5.64×1.82×2.50	エッチケー	
7	油圧ショベル	—	312C(0.45m ³)	12,300	—	CAT	排出ガス適合
8	油圧ショベル	—	305SR(0.2m ³)	4,595	—	CAT	排出ガス適合

設備

【 中間処理センター 】

名称	規格	数量
トラックスケール	—	1基
脱水車(移動・固定兼用)	遠心分離式	1台
油圧ショベル	0.45m ³	1台
ホイルローダ	1.5m ³	1台
振動篩設備、汚水浄化設備		

許可の内容

許可名	許可権者	許可番号	許可年月日	有効年月日	種類	範囲	積替え保 管の有無	備考
産業廃棄物処分業	秋田県	第00524000972号	H30.11.24	R7.11.23	脱水処理施設設置	汚泥		優良
	秋田市	第08620000972号	H30.12.5	R7.12.4	脱水処理施設設置	汚泥		優良
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	北海道	第00150000972号	H30.7.24	R5.7.23		廃油・水銀またはその化合物	無	
	青森県	第00251000972号	H30.8.6	R5.7.23		廃油・廃酸・廃アルカリ・汚泥	無	
	秋田県	第00554000972号	H30.10.1	R7.8.24		廃油・廃酸・廃アルカリ・汚泥	無	優良
	岩手県	第00350000972号	H30.7.20	R5.7.19		廃油・廃酸・廃アルカリ	無	
	山形県	第0659000972号	R2.10.12	R9.10.11		廃油・廃酸・廃アルカリ	無	
産業廃棄物収集運搬業	北海道	第00100000972号	H30.7.5	R5.7.4		汚泥・廃プラ類・金属くず・ガラスくず・ Coくず・陶磁器くず	無	
	青森県	第00201000972号	R2.7.16	R9.6.26		汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラ・金 属くず・ガラスくず・Coくず・陶磁器くず	無	
	秋田県	第00504000972号	H30.11.24	R7.11.23		汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラ・金 属くず・ガラスくず・Coくず・陶磁器くず・動 植物性残さ・ばいじん・燃え殻	無	優良
	秋田市	第08610000972号	H30.12.5	R7.12.4		汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラ・金 属くず・ガラスくず・Coくず・陶磁器くず・動 植物性残さ・ばいじん・燃え殻	有	優良
	岩手県	第00300000972号	R2.2.7	R9.2.6		汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラ・金 属くず・ガラスくず・Coくず・陶磁器くず・が れき類	無	優良
	山形県	第0609000972号	R2.10.12	R9.10.11		汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラ・金 属くず・ガラスくず・Coくず・陶磁器くず・動 植物性残さ・ばいじん・燃え殻	無	
	新潟県	第01509000972号	H30.5.9	R5.5.8		汚泥	無	
特定建設業		秋田県知事許可 (特一25)第2678号	H30.8.12	R5.8.11				

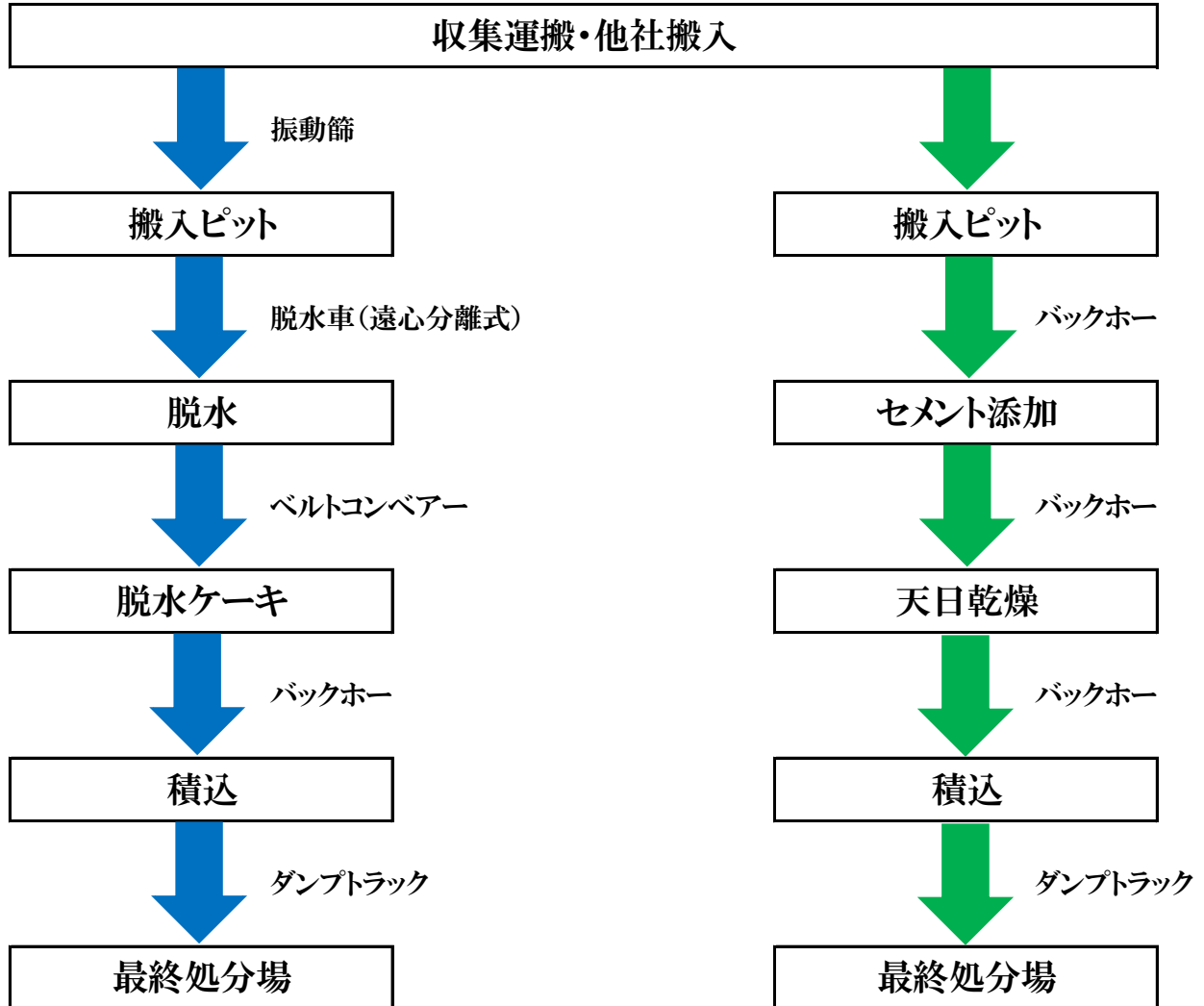
【 中間処理センター 処理工程図 】

無機性汚泥

建設汚泥・油水分離槽汚泥・ベントナイト汚泥 等

有機性汚泥

グリーストラップ汚泥・下水汚泥 等



環境関連法規制の遵守状況

○環境関連法規制の遵守状況

令和5年4月1日

環境関連法	法規制内容	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用	○
騒音規制法	指定地域における建設作業と届出	○
振動規制法	指定地域における建設作業と届出	○
建設リサイクル	対象工事における届出書面作成	○
循環型社会形成推進基本法	再利用・再使用・熱回収	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	廃棄物発生抑制	○
環境基本法	環境保全・健康で文化的な生活の確保	○
消防法	指定危険物の貯蔵と取扱、届出	○
道路交通安全法	安全運転、道路における対象工事・作業の許可申請	○
道路法	継続して道路を使用・占用する対象物件の許可申請	○
道路運送車両法	登録・点検・検査	○
秋田県公害防止条例	pH、ss、油分	○
秋田市公害防止条例	騒音・振動・臭気・水質	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者	○
計量法	計量証明発行	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	飛散防止・許可の看板提示・許可更新	○

○違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

取組みの対象範囲

- 1、 取組みの対象範囲 ……全組織、全活動
対象事業所： 本社(事務所・車庫)
中間処理センター
資機材センター
- 2、 活動
産業廃棄物収集運搬
汚泥中間処理・処分
土木工事 等の事業

環境活動計画

	環境目標	実施事項	
1	CO ₂ 排出量削減	電力	照明消灯の徹底
			エアコンの温度管理の徹底
		燃料	アイドリングストップの徹底
			急発進・急加速の自粛
			日常・定期点検の実施
		重機の効率的稼働	
2	廃棄物排出量削減	廃棄物の分別	
		コピー用紙の再利用	
3	水消費量	節水の啓発	
4	地域貢献	クリーンアップ活動への参加	
		周辺地域の清掃活動	
5	環境配慮商品の提供	汚泥受入量を増やし脱水により排出量を削減	

環境活動目標

項目	単位	2021年度 (実績・基準値)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	297,663	291,710	288,733	285,756
電気使用量	kg-CO2	55,095	53,993	53,442	52,891
燃料使用量	kg-CO2	242,568	237,717	235,291	232,865
水使用量	m3	1,700	1,666	1,649	1,632
廃棄物排出量(一般)	kg	480	470	466	461
廃棄物排出量(産廃) 注1	t	27	26	26	26
セメント使用量	t	393	385	381	377
汚泥受入量	t	8,262	8,345	8,428	8,510

※ 二酸化炭素排出係数:0.528 (kg-CO2/KWh) (東北電力2018年度)

※ 二酸化炭素排出係数:0.522 (kg-CO2/KWh) (丸紅新電力2017年度)

※ 化学物質に関しては、弊社の主要工種のため削減は困難なので、
使用・処分に関し適切に管理する。

注1 廃棄物は汚泥以外

環境活動実績

項目	単位	2021年度 (基準値より の目標値)	2022年度 (実績・新基準 値)	結果
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	297,663	284,010	○
電気使用量	kg-CO ₂	55,095	25,206	○
燃料使用量	kg-CO ₂	242,568	258,805	○
水使用量	m ³	1,700	1,564	○
廃棄物排出量(一般)	kg	480	470	○
廃棄物排出量(産廃) 注1	t	27	11	○
セメント使用量	t	393	670	×
汚泥受入量の増加	t	8,262	9,525	○
項目	単位	原単位での比較	原単位での比較	結果
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	330	271	○
電気使用量	kg-CO ₂	61	24	○
燃料使用量	kg-CO ₂	269	247	○
水使用量	m ³	1.9	1.5	○
廃棄物排出量(一般)	kg	0.53	0.44	○
廃棄物排出量(産廃) 注1	t	0.030	0.010	○
セメント使用量	t	0.44	0.64	×
汚泥受入量の増加	t	9.17	9.10	×

※ 二酸化炭素排出係数:0.528 (kg-CO2/KWh) (東北電力2018年度)

※ 二酸化炭素排出係数:0.522 (kg-CO2/KWh) (丸紅新電力2017年度)

注2 廃棄物は汚泥以外

2021年度新基準値売上高
901,931,681万円

2022年度売上高
1,045,274,568万円

環境活動計画の取組結果と評価

環境目標	具体的項目	評価		取組の評価と今後の取組について
		事務所	処理場	
電力削減	照明消灯の徹底	×	○	新入社員も増え車庫を出る際に電気の消し忘れが目立、まだまだ教育を通して節電の意識を皆に意識付けたい。
	エアコンの温度管理の徹底	○	○	
燃料削減	アイドリングストップの徹底	○	○	停車時のアイドリングストップ、タイヤ空気圧の日常点検を習慣化できているので引き続き取り組んでいきたい。
	急発進・急加速の抑制	○	○	
	日常・定期点検の実施	○	○	
	重機の効率的稼働	○	○	
廃棄物削減	廃棄物の分別	○	○	一般廃棄物は若干の増加がみられたので原因を探り、減量化に努めたい。 産業廃棄物は減量できたが、さらに混合廃棄物を減らしていきたい。
	コピー用紙の再利用	○	—	
	両面コピーの推奨	○	—	
排水量の削減	節水の啓発	○	—	タンクに貯水する際に溢れた無駄な放水、節水を徹底させたい。
環境配慮商品の提供	汚泥受入量を増やし脱水により排出量を削減	—	○	汚泥搬入量は増加しているため、この傾向を継続したい。しかしセメント使用量が増加傾向のため、計画的な脱水について検討する。
地域貢献	クリーンアップ活動への参加			クリーンアップは3回(4・7・10月)参加した。引き続き継続参加していく。周辺地域の清掃活動は仕事の合間に定期的に行った。
	周辺地域の清掃活動			

○～十分な取組みができた △～ある程度取り組んだ ×～取組が不十分だった

地域貢献



従業員教育



女性従業員教育



代表者による評価

当社は前年度、売上高9億1000万を計上し過去最高売上を計上したが、今年度は10億4500万の売上高を更新した。それに伴い、基準年度を前年度(21年度)の基準を設けたが、二酸化炭素排出量その他原単位での比較でも基準値を下回った。汚泥の受入れも昨年に続き8,262tから1,263t増加の、9,525tであったにも関わらず電気、燃料も下回ったのであれば日々の節電・節水の心掛けが意識的に行われている証と感じている。今年度からは新しく更新した中間処理場脱水車を稼働させセメント量の節約、コスト削減に向け今年度の取組結果を期待すると共に、引き続き脱炭素に向けて活動に注力していきたい。

令和 5年 4月17日
豊興産株式会社
代表取締役 石 黒 慎